

## 2014年理工A方式第2問

2 平面上に、 $\angle AOB = \frac{\pi}{2}$ 、 $OA = 2$ 、 $OB = 3$ であるような三角形 OAB がある。辺 AB の中点を M とする。三角形 ABP が正三角形になるように、直線 AB に関して点 O の反対側に点 P をとる。このとき、

(1)  $\vec{OM} = \frac{\boxed{13}}{\boxed{14}}\vec{OA} + \frac{\boxed{15}}{\boxed{16}}\vec{OB}$  である。

(2) 点 O から辺 AB に垂線を下ろし、辺 AB との交点を H とすると、

$$\vec{OH} = \frac{\boxed{17}}{\boxed{18} \boxed{19}}\vec{OA} + \frac{\boxed{20}}{\boxed{21} \boxed{22}}\vec{OB}$$

である。

(3)  $MP = \frac{\sqrt{\boxed{23} \boxed{24}}}{\boxed{25}}$  で、 $\vec{MP}$  と  $\vec{OH}$  とが平行であることに注意すると、

$$\vec{MP} = \frac{\boxed{26}}{\boxed{28}}\sqrt{\boxed{27}}\vec{OA} + \frac{\sqrt{\boxed{29}}}{\boxed{30}}\vec{OB}$$

である。